



2学期 共通実践にむけて

R7.8. 22 校内研修会

2学期の共通実践に向けて

研究推進部

1 学期からの「KEEP」

視点1

見方・考え方

- ◆働きさせたい
見方考え方の明確化
- ◆単元デザインの工夫
- ◆課題や問題、資料、問い合わせの吟味

視点2

対話の活性化

- ◆目的や視点の共有
- ◆他者参照の有効活用
- ◆探究的・課題解決的な学びの過程

視点3

教師の見取り

- ◆子どもの状況に応じた関わり（個・全体）
- ◆ICTを活用した学習状況の把握
- ◆検証

- ・教材研究で「見方・考え方」を教師が捉える
- ・思考の軸「見方・考え方」をそろえる一斉指導
- ・板書や掲示で視覚化する



計画訪問全体研の板書

※7.24校内



見方と考え方を板書

見方として
「記述」「推敲」の視点

文月九日(水) みんなが使いやすいデザイン

伝わるポイント

- 題材設定
- 情報収集
- 内容の検討
- 構成
- 記述
- 参考・著者名・リンク
- 推敲

＜ 身近な伝わるフレーズを書こう 2/3 ＞

本文の大きな所を使う
本文の内容からキーワードを探す

自分の考え方

分けたことにつながる
きっかけにつながる
相手につなげる

考え方として その方法・手がかり

2学期の「GOING」

セレクト学習の充実

GEAR-★

教師主導のセレクト

- ・先生が選択肢を示し、児童は選択する
- 学習方法
- 学習形態
- 学習内容
- 次の課題

GEAR-★★

児童と作るセレクト

- ・目的を確認
- ・選択肢を児童から
- ・「セレクト学習」を児童が選択

GEAR-★★★

児童主体のセレクト

- ・子どもたちが自分たちで進める

一斉でも
セレクトでも

「見取り」を大切にする その1

①授業前

- ・既習の定着度
- ・予備知識がどの程度あるか 等
 - プレテストの実施
 - アンケート調査
 - 導入の仕方で把握

児童のつまずきを想定し
支援の方法を考えておく

一斉でも
セレクトでも

「見取り」を大切にする その2

②授業中

- ・見方・考え方を働かせているか
- ・学び方 等

→机間巡視で

ノートを見る、話していることを聞く
声をかける、価値付ける
児童をつなぐ

一斉でも
セレクトでも

「見取り」を大切にする その3

③授業後

- ・一人ひとりに力がついたか
→言語活動、適用題、活用問題
丸付け、お直しまでしっかり見る
評価をして返す

※最後だけでなく、毎時間、途中の見取りや評価も大切に

2学期の「GOING」

視点1

見方・考え方

- ◆働きさせたい
見方考え方の明確化
- ◆単元デザインの工夫
- ◆課題や問題、資料、問い合わせの吟味

視点2

対話の活性化

- ◆目的や視点の共有
- ◆他者参照の有効活用
- ◆探究的・課題解決的な学びの過程

視点3

教師の見取り

- ◆子どもの状況に応じた関わり（個・全体）
- ◆ICTを活用した学習状況の把握
- ◆検証

対話での
学びの深まり

2学期の共通実践に向けて

学習指導部

算数 基礎基本

◆2学期 重要計算単元

1年	2年	3年	4年	5年	6年
くりあがり くりさがり	かけ算	かけ算 の筆算	小数のかけ 算とわり算	分数	

◆2学期に身につけるべき計算技能を、確実に！

◆できる(B)の基準を学年でそろえる

◆Cの子への継続的な支援のしかたをそろえる

算数 基礎基本

◆浜っ子チャレンジ週間

1学年につき、1, 2回設定

②浜っ子チャレンジ週間

◆チャレンジ週間以外にも帯タイムを活用

◆CSさんを活用

◆家庭学習 時間、量、学年でそろえて

2学期の共通実践に向けて

生徒支援部

生

浜小授業スタイル

最後は自分で！

あきらめずに考える

友達を支える

分かった」と伝える

分かろうとして聞く

自分たちからスタート

準備・ベルスタ当たり前

「伝える勇気」「支えるあたたかい心」

浜小じゅぎょうスタイル

生

さいごはんぶんで！

あきらめずにかんがえる

ともだちをささえる

わかつたことをつたえる

わからうとしてまく

じぶんたちからスタート

じゅんび・ベルスタあたりまえ

「伝える勇気」「支えるあたたかい心」

つた

ゆう

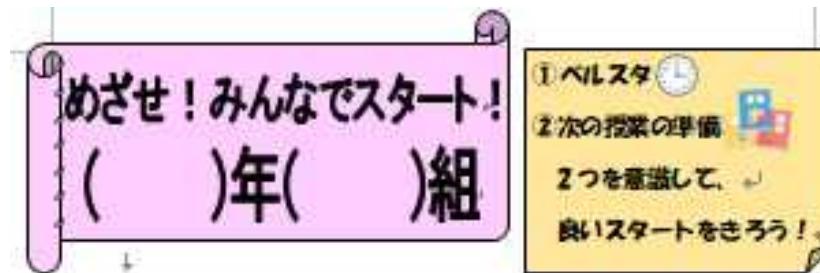
さ

七

みんなでスタート！

①チャイムと同時スタートが
当たり前
⇒○分前着席を目指そう！

②次の授業準備をしてから
休み時間
⇒10分休みは準備の時間
遊ぶ時間ではない



曜日	9/3 (水)	9/4 (木)	9/5 (金)	*全員
①	① ②	① ②	① ②	ができたら○できなかつたら×をつけてね。
1限				
2限				
3限				
4限				
5限				
6限				

生

生

セレクト学習をしても…

お互いの意見を
発表するだけで、
子ども同士での
深まりが見られない



2学期は

？を見つける力
を育てていきましょう

- ・なんでこうなったの？
- ・どこからそう思ったの？
- ・でもそれって～じゃない？
- ・他の場合でも同じかな？

と自分から言える子

対話力アップを目指していきましょう

生

朝の時間や学級活動の時間、ちょっとした隙間時間に
ペアやグループで**1~2分程度のミニトーク**

(例1)自分のナンバー1〇〇

- ・自分のナンバー1アイス、お菓子、アニメ

(例2)A・Bどっち派?

- ・山か海、遊びに行くならどっち派?
- ・焼肉かお寿司、食べに行くならどっち派?

どうして?

どんなところが
好きなの?

対話力アップを 目指して

どうして好きなの？

- ・アドジャンシート
⇒「アードージャン」の掛け声
で指を出す
合計本数のお題でトーク

積極的にエンカウンターやPA
(プロジェクトアドベンチャー)
の活用を！

アドジャンシート

合わせた数	話すこと	チェック
1 (18)	①生まれ変わるとしたら、何になりたい? ②頑張っていること	
2 (19)	①かなえてくれるとしたら、何にする? ②やめて！私のプチ悩み	
3 (20)	①何が好き? ②十千万円を一人で使えるとしたらどうする?	
4 (21)	①自分の住んでいる地域のここが好き ②最近、うれしかったことは何?	
5 (22)	①私の健康法 ②飼ったことのある動物とその名前	
6 (23)	①自分の売りと言えば? ②将来の夢を語る	
7 (24)	①今までのよい思い出 ②旅をするとしたらどこに行きたい?	
8 (25)	①最近、裏められたこと ②好きなスポーツは?	
9 (26)	①自分の学校のよいところ ②1回だけ魔法が使えるなら、どんな魔法?	
10 (27)	①岡山県のお勧めスポット ②好きな音楽は?	
11 (28)	①好きな芸能人は? ②小学校の時の忘れられない思い出	
12 (29)	①誰も知らない私の秘密 ②好きな食べ物は?	
13 (30)	①田舎と都会どっちが好き? ②好きな色は?	
14 (31)	①いちばんくやしかった出来事 ②勧された一言	
15 (32)	①旅をするとしたら飛行機、電車、船、車のどれに乗る? ②一日自由に過ごせるとしたら、何をする?	

生

エンカウンター 実践例

生

人間コピー

⇒見たイラストを絵を描く人に伝える

どこにどんなイラストが
書いてあったの？



ポイント: イラストを見に行く順番を決め、
一人ずつ見に行く



描いたイラストをみんなで見合う
(「だれのどんな伝え方が分かりやすかったかな？」など)

プロジェクトアドベンチャー 実践例

生

ヘリウムリング

⇒人差し指の上にフラフープをのせて、床まで運ぶ



ポイント①: 人差し指は横向き

ポイント②: スタートの高さは一番身長低い子の胸の高さ

最後は、「せーの」でおろす

2学期の共通実践に向けて

健康教育部

クロムブックの使用について①

クロムブック＝学習の道具

→放課後の使い方について再度声掛けを！

✗YouTube

ゲーム系

チャット系

クロムブックの使用について②

クロムブックの設定について

→壁紙、アイコン写真、詳細設定など

勝手に変更しない！

2学期のスタートに全員で揃えましょう。



クロムブックの使用について③

授業以外でのクロムブックの使用は週1回昼休みのみ

→学年で何曜日にするか相談して、学年でそろえて使用してください。クロム使用の曜日

(依存の実態)

(クロム=学習の道具)



クロムブックの使用について④

クロムブックの使用について指導するときにはぜひGIGALinksの活用を！



授業でのクロムブック活用について

浜小学校の実態

質問番号	質問事項											
(29-3)	あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って情報を整理する（図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる）ことができると思いま すか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴校	21.0	49.0	26.0	4.0							0.0	0.0
石川県（公立）	26.9	44.6	24.4	3.9							0.0	0.1
全国（公立）	26.9	42.4	25.7	4.9							0.0	0.1

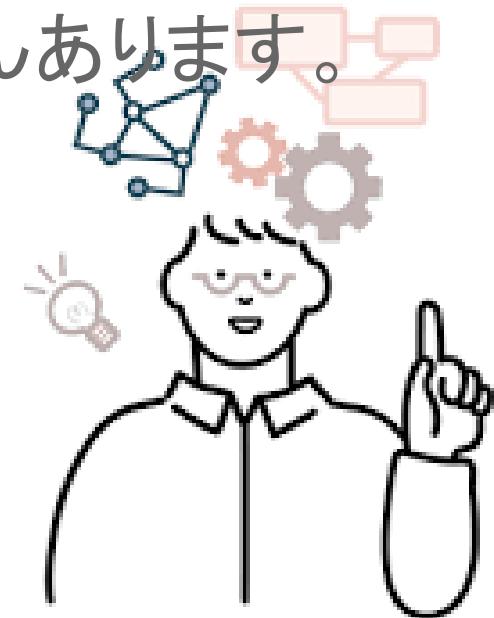
他のICT関係の質問に比べると課題が見られる（全国平均並）

授業でのクロムブック活用について

情報を整理するためにクロムブックを活用していきたい！

情報を整理する→思考ツールの活用

クロムブックでも使える思考ツールがたくさんあります。



授業でのクロムブック活用について

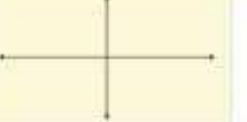
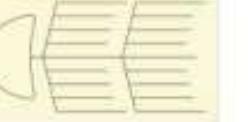
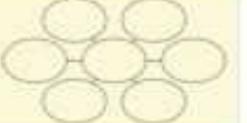
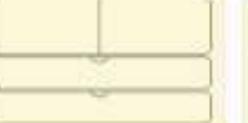
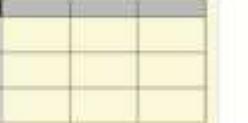
代表的な思考ツールについて

ツール名	ペン図	イメージマップ	ステップチャート	フィッシュボーン図	Xチャート	マトリクス(表)	クラゲチャート	キャンディチャート	KWLチャート	座標軸
形										
できること	共通点と相違点を見つける	アイデアを出す	順序を整理する	事象の要因を探る	複数の視点から捉える	関係の有無や関連度合いを示す	理由を挙げて具体的にする	仮定・条件に基づいて結果を予測し根拠を示す	「知っていること」「知りたいこと」「分かったこと」を整理する	2つの軸で整理し位置付けを明確にする
考えるための技法 (思考スキル)	比較する/分類する	アイデアを出す/広げてみる/関係づける/関連づける/評価する	順序立てる/計画する/構造化する/要約する	分析する/焦点化する/構造化する	多面的に見る/多角的に見る/アイデアを出す/焦点化する	分類する/整理する/比較する/多面的に見る	理由づける/関係づける/要約する	仮定する/予想する/推論する/見通す	焦点化する/計画する/見通す/ふりかかる/整理する	比較する/分類する/位置づける/整理する

思考を整理するツールについて

①オクリンクプラス

テンプレート選択

				
Yチャートで思考を整理しよう	Xチャートで思考を整理しよう	Wチャートで思考を整理しよう	ピラミッドチャートで思考を整理しよう	クラゲチャートで思考を整理しよう
				
キャンディチャートで思考を整理しよう	座標軸で思考を整理しよう1	座標軸で思考を整理しよう2	くま手チャートで思考を整理しよう	フィッシュボーンで思考を整理しよう
				
ウェビングマップで思考を整理しよう	ウェビングマップで思考を整理しよう	同心円チャートで思考を整理しよう	情報分析チャートで思考を整理しよう	マトリックスで思考を整理しよう

思考を整理するツールについて

②岩原先生より

思考ツール

(共有ドライブ→浜小資料→思考ツール・背景設定)

思考を整理するツールについて

③Googleスライド

思考ツール付きスライド

⚠️コピーして使ってください

授業でのクロムブック活用について

児童に情報を整理するときには、思考ツールが便利であることを経験させていきましょう！



Designed by  Freepik

1年

2学期からの取り組み

研究・学習

- ・セレクト学習
- ・見取り
- ・基礎基本の定着

- ・まずはセレクト学習の土台作り→目的をはっきりさせた上で、答えの交流、内容の交流、どんな人と関わればいいのか（好きな人ではない）、使うもの、これがセレクト学習だよ、ということを伝えていく。
- ・書けない分、指で指したり、話をさせたりして、どこまでわかっているのかをアウトプットさせなきゃ、と教師側が意識しておくことが大切。
- ・繰り上がり、繰り下がりが始まる前に、無しの計算をバッチリにしておく。計算カードに目標を時間を設定する。
- ・学期末の漢字テストは、定着を測るために事前に練習してから行う。

生徒支援

- ・対話力アップ

- ・準備ベルスタあたりまえ→10分休みはトイレ、水分、座る。読書は○、お絵かき×
- ・まず、自分のことは自分で→ともだちをささえる
- ・対話力アップのために→ペアトークを朝の会のあと、国語の時間、学活などで どうしてかというと、を使う。
- ・いろいろな子と関わるよう意図的に場をつくる。
- ・エンカウンターもとりいれていく

健康教育

- ・クロムブック活用
- ・思考ツール

- ・運動会後から運動場遊びを解禁する予定。それまでは休み時間にできることが少ないため、それまでは、長休みと昼休みの使用の制限はしない。
- ・1年生は新しいクロムが届くので、使い方の決まりをもう1度確かめる。ルールを守れない子は使えない、というのを徹底する。
- ・思考ツールをつかってみる。

学力向上

重点単元の計画と評価問題⇒済（記入しなくて良い）

2年	2学期からの取り組み
研究・学習 <ul style="list-style-type: none"> ・セレクト学習 ・見取り ・基礎基本の定着 	<p>セレクトの土台をかためる。</p> <p>学習形態 高め合える相手と行う。なかよしとだけ組むのはだめ。</p> <p>学習内容 分からないことを自分から進んで聞きに行き、分かるようにする。適用題は数をこなすことよりも、手順や考え方を書いて説明できるようにする。アクティビリコール。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計算カードを改めて徹底して取り組む。 ・基礎基本の定着とスピードアップは、AIドリルと家庭学習。
生徒支援 <ul style="list-style-type: none"> ・対話力アップ 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝の会でペアトーク。1分で会話を楽しんで一日のスタート。
健康教育 <ul style="list-style-type: none"> ・クロムブック活用 ・思考ツール 	<p>オクリンクプラス 共同編集ボードごとに児童を振り分けて思考ツールに慣れ親しませる。</p>
学力向上	<p>重点単元の計画と評価問題⇒済（記入しなくて良い）</p>

3年	2学期からの取り組み
研究・学習 <ul style="list-style-type: none"> ・セレクト学習 ・見取り ・基礎基本の定着 	<ul style="list-style-type: none"> ・目的を持ったセレクト学習（協働相手を意味のあるものに） ・できていない子を見取るために、お直しは家に持ち帰らずその日中に終わらせるようする。 ・単元テストごとにCの児童の補充学習を行う。
生徒支援 <ul style="list-style-type: none"> ・対話力アップ 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝の会にペアトークの時間を作る。（1～2分）
健康教育 <ul style="list-style-type: none"> ・クロムブック活用 ・思考ツール 	<ul style="list-style-type: none"> ・2学期の国語の単元で必ず思考ツールを使う。
学力向上	<p>重点単元の計画と評価問題⇒済（記入しなくて良い）</p>

4年

2学期からの取り組み

研究・学習

- ・セレクト学習
- ・見取り
- ・基礎基本の定着

- ・GEAR 3、協働相手を「安心」から脱却できるよう指導（目的に応じた協働相手を選べるようにを重点に）、ICT活用を媒介にしながら。
- ・わり算の筆算は単元の適切な習熟のタイミングでCSさんを依頼（9/10/11/12）、4問筆算の宿題をを÷2桁で2学期中継続（その中でCの子の指導を継続）

生徒支援

- ・対話力アップ

- ・週に1回は、AorBでの隣同士での対話を行う。
- ・社会の学習に向けてゲーム形式で共通点見つけを行う。

健康教育

- ・クロムブック活用
- ・思考ツール

- ・国語「ごんぎつね」でXチャートを利用して、物語の設定を捉える
- ・社会「防災」でYチャートを利用して、三助の関係性や関連性を探る
- ・総合「福祉」でスライドを作り、発表会

学力向上

重点単元の計画と評価問題⇒済（記入しなくて良い）

5年

2学期からの取り組み

研究・学習

- ・セレクト学習
- ・見取り
- ・基礎基本の定着

- ・教科、課題に応じて協働相手を選択できるようにしていく。
- ・課題ができたで終わりにはしない。課題が終わってからも学べるようにしていく。
- ・宿題の直し、再テストを最後まできっちりとやりきることで、基礎基本の定着を図っていく。

生徒支援

- ・対話力アップ

- ・朝の時間や学活の時間にミニトークやエンカウンターの時間を確保していくことで、積極的な対話を促していく。
- ・対話をしている中で、素敵な言葉が出てきたときや積極的に対話しようとしている児童を価値づけ、広めていく。

健康教育

- ・クロムブック活用
- ・思考ツール

- ・学年団で情報共有しながら、思考ツールを積極的に使ってみる。
- ・クロム依存にならないように、「何のために使うのか」を繰り返し伝えていくようになる。
- ・ネットとの付き合い方や情報モラルについても合わせて指導していく。

学力向上

重点単元の計画と評価問題⇒済（記入しなくて良い）

研究・学習

- ・セレクト学習
- ・見取り
- ・基礎基本の定着

- ・目的に応じた協働学習を行っていく。
- ・授業前、授業中、授業後の見取りを行っていく。（特に算数）
- ・基礎基本の定着をはかるために、終わった単元の復習プリントを宿題で用いたり、テストなおしをする際にはどうして間違えたのか考える時間を設け、なおしをさせたりする。

生徒支援

- ・対話力アップ

- ・みんなでスタートを行い、当たり前の確認をし、徹底していく。
- ・対話力アップを目指し、エンカウンターを隙間時間などに行っていく。

健康教育

- ・クロムブック活用
- ・思考ツール

- ・情報モラル教育を行ったり、クロムのルールの徹底を行う。
- ・教材研究を進めるにあたって、学年で相談しながら思考ツールを使える場面がないか考えていく

学力向上

重点単元の計画と評価問題→済（記入しなくて良い）